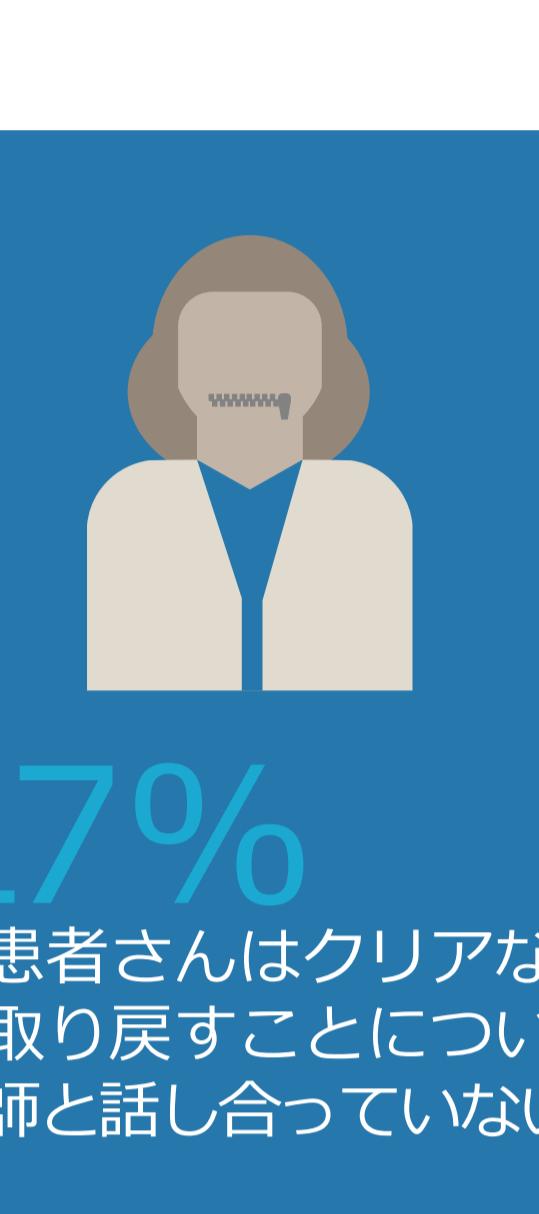


クリアな肌に対する考え方



治療に対する期待が低いため、半数以上の乾癬患者さんはクリアな肌を求めない。

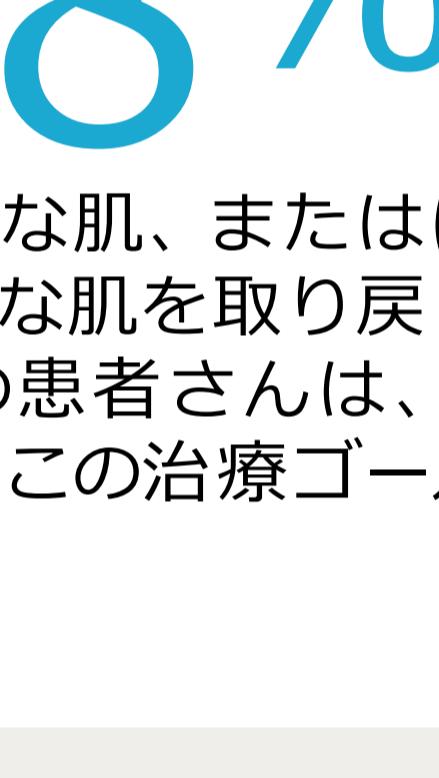
これらの患者さんの想いは、日本を含む世界31カ国にわたり、25の患者団体の協力により、8,338人の中等症から重症な乾癬患者さんが参加した過去最大規模の乾癬患者調査「Clear about Psoriasis Patient Survey（クリアな肌に関する乾癬患者調査）」の結果に基づくものです。



43%の患者さんが今の治療でクリアな肌、またはほぼクリアな肌を取り戻すことができたと回答。しかし55%は、未だこれが達成可能な治療ゴールだとも思っていない。



17%
の患者さんはクリアな肌を取り戻すことについて医師と話し合っていない。

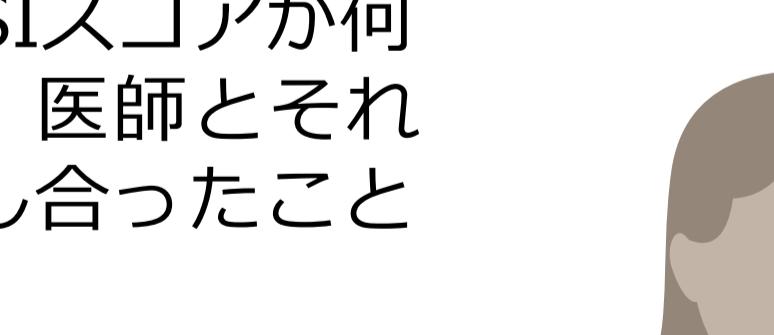


13%
は、医師にこのことを話すのをためらっている。



28%

クリアな肌、またはほぼクリアな肌を取り戻した28%の患者さんは、1年以内にこの治療ゴールを達成。

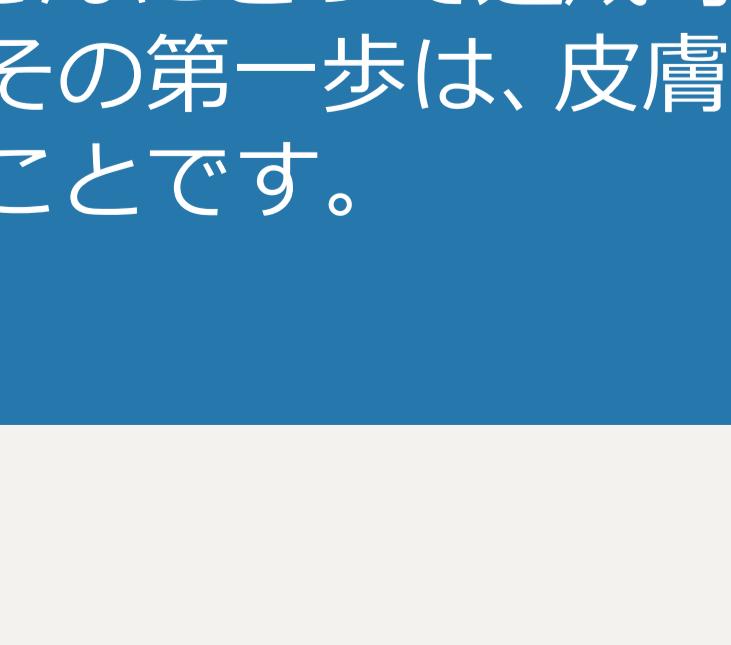


有効な治療にたどり着くまで、患者さんは平均で3人以上の医師にかかり、4つ以上の治療を試している。



72%の調査に参加した患者さんがPASIスコアが何かを知らず、医師とそれについて話し合ったことはない。

医師は、PASIを使い乾癬の広がりと重症度を見ていることから、治療ゴールを設定する際の重要な指標としている。



はだねっと

Skin to live in

NOVARTIS